(様式第3号)

企業•団体名(株式会社河一屋

SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2) 【R5.11.30変更】

項	カ			Fale ⊕Aut 1	[T =] 0			主な	:SDGs	(17ゴー	-ルと16	9ター	ゲット	ト)関	連項	目	
項 カ ラ 番 ニ	テー	チェック項目	取組	【非該当】 の場合	【予定】の 場合	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載)	1 2	3 4	5	6 7				12	13 14	4 15	16 17
番号	ゴリ	, = / / · X l	レベル	選択入力	選択入力	(【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	1 CT. 2 CT. CT.	-4/\$ 1 1000	ė,	<u>A</u>	11111 de 11111	4.000°	1 17 CO	∞	·	B10°° <u>∳2</u>	×
1		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を 整備し、差別がないことを確認している	基本(必須)			・部署毎の1on1ミーティングを定期開催し、職場環境 や差別有無の実態の把握に努めている ・コンプライアンス委員会を設置し、年に1・2回程度の 価修を実施			5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談 体制を整備している	基本(必須)			・コンプライアンス委員会を設置し、ハラスメント禁止についての研修を実施 ・社員による社員のみの組織を設置し、相談窓口として いる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			5.1 5.2 5.5		8.5 8.8						16.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本(必須)			ている・旅館業に多い中抜けシフトを極力排除し、2シフト制と					8.5 8.8						
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・コンプライアンス委員会を設置し、年に1・2回程度の 研修を実施 ・社員による社員のみの組織を設置し、相談窓口として いる。		4.4			8.7 8.8	10.2 10.3					
5	人権	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			いる ・衛生的で発揮された職場環境を目指950安員会を 設置し、毎月各所を点検し、必要に応じて整理・掃除 を指示 ・食品衛生講習会を毎年受講		3			8						
6	労働	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本(必須)			・会ナースパー・ター・		3									
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境 の整備に取り組んでいる	基本			・管理職の3割以上は女性社員 ・障がい者、高齢者を採用し適所で活躍している			5.1 5.5		8.5	10.2 10.3					
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・ 全		4	5.5		8 9						
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本(必須)			・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行っている ・職場いきいきアドバンスカンパニー取得済み			5.5		8.5	10.2 10.3					
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			1 社員でスホープ人芸をザ千夫施 ・協会けんば「健康でグリチャレンジ宣言」実施済み ・健康診断の毎年実施 ・朝礼時にラジオ体操実施 左外本が選り、本は、2222年を登供		3			8						
11		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本(必須)			・廃棄物の種類・量などを把握し、適切な分別・処理を 行っている							11.6	12	14	.1	
12	環	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本(必須)			・電気・ガス・灯油・水道の利用量を月毎に把握し、削減目標を設定				7.3					13		
13	境	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本(必須)			・温室効果ガスの排出抑制のため、LED照明や二重 サッシへ交換し、省エネ型空調や節水トイレへの更新を 実施済み	-			7.2 7.3				12.4 1	3.3		
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用 に取り組んでいる	基本(必須)			・法令で規制されている有害化学物質を把握し、持ち 込まない		3.9		6.3			11.6	12.4			

項	カ				l	2 44.44.44.75.40		主なS	DGs (1	17ゴー	-ルと16	9ター	ゲッ	h)	関連リ	頁目		
自	テ	チェック項目	取組	【非該当】 の場合	【予定】の 場合) 具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載)	1 2	3 4	5 6	7	8 9	10	11	12	13	14 1	5 16	17
項目番号	テゴリ	アエック項目	レベル	選択入力	選択入力	(果などの収存膨脹があれば、好せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	1 11% 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		₫	7	ani 5	10:::::	allún	∞	10 :::::	15 17	¥ ¥	***
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本(必須)			・バイオマスゴミ袋の利用促進 ・お客様に地物食材の提供をすることで、環境保護の恩恵と 密蒙を直に感じて頂く ・温泉や清水の源となるブナ原生林保護のため、お客様へ の啓蒙活動及びナの協樹活動を実施 ・二に「報び表面利力」、3 NNSを利力した「青報共行フー			6.6	6						1	5	
16	-	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本(必須)			ルの採用によるペーパーレスを推進 ・廃材を利用したダイニングテーブル・イスなどの家具 採用を推進								13	1	14.1		
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・水道の利用状況を管理している ・節水型設備(シャワー・蛇口など)を導入済み			6.4 6.6									
18	環境	【環境マネジメントシステム】 ・IS014001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)		【予定】	・令和8年3月までに、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を把握していく		3.9	6	7				12	13.3	14 1	5	
19	-	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			・温泉や清水の源となるブナ原生林保護のため、お客 様への啓蒙活動及びブナの植樹活動を実施								12.6				
20	-	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	・太陽光・風力・水力・地熱・温度差熱などの利用を検 討し方向性を令和8年3月までに決定する				7.2					13			
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・現在、館内浴室や客室に天然温泉を利用し、お客様にお楽しみ頂いている								12.2	13	14 1	5	
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			・コンプライアンス委員会を設置し、年に1・2回程度のコンプライアンス研修を実施。汚職・贈収賄とは何かを学び、禁止する旨社員に伝えている											16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			・コンプライアンス委員会を設置し、年に1・2回程度の コンプライアンス研修を実施。不正競争行為とは何か を学び、関与しない旨社員に伝えている											16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本(必須)			・知的財産の保護の重要性について学び、保護に取り 組んでいる					8.2 8.3)						
25	公正な事業	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本(必須)			・コンプライアンス委員会を設置し、年に1・2回程度のコンプライアンス研修を実施。個人情報の重要性を学び、保護に取り組んでいる											16	
26	未慣行	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱って <u>いないこと</u> を確認している	チャレンジ (任意)			・取り扱っていない											16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系へ の悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)に ついて認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・事業パートナーをお招きした方針発表会や懇親会に おいて、人権侵害・環境保全に対する考え方や取り組 みを共有している			5		8	10		12	13	14 1	5 16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト:https://www.biz-partnership.jp/	基本(必須)			パートナーシップ構築宣言を作成・公表している		3			8 9	10						17

項			ľ					主	⊋SDGs	s (17=	ゴールと	:169タ	ーゲ・	ット)	関連	項目		
自		チェック項目	取組	【非該当】 の場合	【予定】の 場合 選択入力	(県などの取得認証があれば、併せて記載)	1 2				7 8						15 16	17
自 番 号		グェック機 石	レベル	選択入力			1 III 2 III (III)	2 iiiii 4 iiii 1 -/y/∳ ∭	₫	Ġ	* 1 mm	s=== - €	::::: ₽ ! !		© ::::	M ::*** 15:	¥	9
29		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本(必須)			・お客様へ地域食材を利用したお食事を提供(長野県原産地呼称管理制度認定品取扱店) ・「おもてなし向上」研修を定期実施・法令に則り、検食の採取・保存を行っている		3.9						12.4	ı			
30	製品・サー	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本(必須)			・こ利用いただいたお客様へ、ハカキやアンケートを利用し、ご感想を積極的にお伺いしている・インターネット上の口コミ投稿について全社員で共有し、返信に努めている・クレーム発生時はSNSを利用し即座に全社員で共有を売りたでも、大変ので観光音源を実施されている。						9						
31	・ビス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・地域の目然環境や観光資源を有効活用した佰泊フランを設定(リフト券付プラン・ブルーベリー摘み取り体験プランなど) ・地域の観光棒却を建築なき極めに、ハムーネットのNCで怒				6				12	13	14 1	15	
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・地域の事業承継や経営支援を目的としたコンサルティング事業を実施している ・定期的に地域事業者を招いた勉強会を開催している	1 2	3 4	5	6	7 8	9	10 11	1 12	13	14 1	15 16	17
33	7 +	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本(必須)			・地域のイベント情報や体験プログラムを積極的にインターネット、SNSで公開・地域の伝統工芸品や特産物の販売・地域の伝統工芸品や特産物の販売・地域の事業産総や経営支援を目的としたコンサル		4				9	11	1 12		14 1	15	17
34	地域貢献・	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			- 地域の事業産級や経営支援を目的月 ナコンサル・地域の産業と交流勉強会を実施し、目社の取組事例の共有を行っている・地域の次世代を担う人材(若手経営者・学生・子ども)向けの経営セミナーを実施・地域の事業産総や経営支援を目的としたコンサル・お客様へ地域食材を利用したお食事を提供(長野県		4					11	ı		14 1	15	17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ (任意)			原産地呼称管理制度認定品取扱店) ・継続的な地域雇用をしている					8	9	11	1 12	13			
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			・地域の業者と優先的に取引をしている ・企業理念を明文化し、毎日の朝礼で唱和 ・毎年の取組方針の制定は、全社員で研修勉強会をし 決定 ・経営の具体的数値目標、社員一人びとりの行動目標					8	9						17
37	Ī	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築し ている	基本(必須)			・コンプライアンス委員会を設置し、年に1・2回程度の 法令遵守・コンプライアンス研修を実施											16	
38	Ē	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整 備している	基本(必須)			・総務部を主管とし、管理職委員会・コンプライアンス 委員会・CS委員会・ES委員会・SS担当・衛生担当・防 火救命担当を設置し役割を明確化											16	
39	組織	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼ す影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本(必須)			・地域の企業や業者と交流勉強会・懇親会を実施し、 当社の目標や活動を共有。問題把握と改善にも努めている ・ご利用いただいたお客様へ、ハガキやアンケートを利 用し、ご感想を積極的にお伺いしている											16	17
40	体制	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			用し、二威根を積極的にお伺いしている ・全社員で経営者育成研修、業務フロー良化研修を定期的に実施し、リスクの発見・評価・対応のスキルアップを目指している ・SNSを利用したクレーム発生時の全社員即時共有											16	
41		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基 づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組ん でいる	チャレンジ (任意)			・「地域のリーダー企業へ!」をビジョンに制定。方針を「私たちが率先して業界の技術レベルを向上させる。この名誉ある役割にそ、私たちが考える地域貢献である。」と定め、定期的な月次ミーティングなどで全社員に責任と役割を意識させている											16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			・自然災害や火災等の災害に対する保険に加入済み ・事業継続力強化計画の認定取得済み						9	11	ı	13 13.1		16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)			・継続的な人材採用・人材育成を行っている					8	9						17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1 2	3 4	5	6	7	8 9) 10	0 11	12 13	14 1	5 16	17
・地域のB種団体(野沢温泉村観光産業課・DMO・旅館組合・商工会など)と協働し、地域活性	・DMO・旅館組合・商工会に加盟し、地域活性化を目指 した積極的な活動をしている						8 9)	11	12		16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。 (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくり エクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)
- 〇 この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA (Responsible Business Alliance) (※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、 間接的 (結果として) に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、<u>赤字</u>で番号を記載
- 〇 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定